

三田市立幼稚園再編計画（案）意見交換会概要

【母子小学校体育館：出席者数：10人】

日時：6月27日（日）10：00～11：25

発言者	出席者の発言等（概要）	市の回答等（概要）
A	<p>私なりの意見で、場違いなこともあるかもしれませんが、聞いていただけたらと思います。資料を見ていると人数が減ることが前提でのお話が進んでいますが、なぜ増えることを前提とした話をされないのですか。減ることが前提として話が進んでいるのはなぜかなと思います。</p> <p>区で実施した保護者に対するアンケートの結果は、現在幼稚園に通われている方がほとんどなのでしょう。もし賛成意見がほとんどで、決定事項となって次の段階へ進んでいきたいと思いますという話になった場合、幼稚園に通われているお子さん、保護者の方は、その時期にはいらっしやらないと思います。新たに子どもを出産されて、これから幼稚園や保育にお世話になる方の意見を聞かれていますか。</p> <p>子どもさんが卒園されて、保護者の方のこういうところが良かったという意見もあるでしょうが、これから施設を利用される方の意見を事前に聞かれてもいいのではないかと思います。そういった世代から聞かれているのかということがわかりづらいので、聞いていただいて意見をまとめていただいたらより良くなるのではないかと思います。</p>	<p>確かに印象として、人口が減ることを前提としたようなお話になるのかなと思います。これをするによって増やしましょうというお話ができていないのは確かですが、若い世代が出て行かれているという状況があるので、もちろん外から入っていただくというところもありますが、出て行かれるのを抑制することができないかと思っています。</p> <p>今の再編計画案では、こういう認定こども園みたいな施設を、広野や志手原を活用する形でお示ししています。園区としては確かに広いですが、少なからずそういう施設が地域の中にあることで、そこで子育てを引き続きしていこうと住み続けていただくことで、人口が流出をしていくことを少しでも止められる。それだけで全てだとは思いませんが、一つにならないかというところでは考えています。</p> <p>ただ、お伝えの仕方として、人口が減少している状況をずっとお話しておりますので、おっしゃられるような受け止めにはもちろんなるのだろうと思います。</p> <p>母子、永沢寺地区が実施されたアンケートにつきましては、どういった年代の方というところは、私も承知していないところがありますので、そこは申し訳ございませんが、お答えができません。ただ、これから子どもさんを産み育てられる世代の方々のご意見を把握していただいているというのはおっしゃられるとおりに思いますので、今後また検討させていただきたいと思います。</p>
B	<p>再編後、公共交通手段、通園バスを考えられていると思いますが、一部の地域に住んでいる人は孤立すると思いますので、通園バスの具体的な導入をどのように考えられていますか。</p>	<p>通園バスにつきましては、閉園となる幼稚園のお子様を認定こども園までお送りさせていただくということで、幼稚園から認定こども園だけではなく、もう少しきめ細やかな送迎を考えております。1号のお子様は無料での送迎を考えております。</p> <p>具体的には、計画が確定して認定こども園の開設前に実際に通われるお子様の住所などがわかりますので、その際に地域の方や保護者の方と具体的なルート等を検討したいと思っております。</p>
C	<p>こういう説明会には、必ず出席してお話を聞いてきました。今日は歩いてきましたが、ちょっと足取りが重かった。それはなぜかという、話を聞けば聞くほど、言葉は悪いですけど丸め込まれてい</p>	<p>幼稚園というのは、やはり子どもさんたちが友達や仲間と一緒に学び合いながら、社会に出たときの準備を徐々にしていくための一つの最初の入り口としてあるのではないかと考えております。そういった観点から、お友だち、仲間がたく</p>

	<p>くと自分の中で、それがちょっとしんどいと思いつつも足を運ばなければ改善には繋がらないという思いで来ました。</p> <p>中身については重々理解をしています。ただ母子・永沢寺地区にとって幼稚園の問題は、小学校の問題でもあると考えています。そういうことを考えなければ、すごく魅力的な内容です。私がこの地域に住んでいなければ、賛成していたかもしれないです。</p> <p>私の中で賛成できないのは、この地域の状況を考えるとあまり良い方向ではないと実感しています。志手原の方に移って、三田市が活性化するという考えですけど、それでは地域の活性化にはならないと私は思います。</p> <p>今、中学生は志手原の方まで行っているの、子どもたちは結構エネルギーがいます。送迎バスがあるとはいえ、幼稚園児が毎日、志手原まで大変だという思いもあります。小学校になれば、母子小学校で学ぶという形になると、果たして中身の充実イコール、子どもたちの充実になるのだろうかという思いもあります。</p> <p>その辺のところをどのように考えて進めていけばいいのかというところで、私の中ではすごく悶々とした迷いの中にいる状況です。良い悪いとか、こうして欲しいとかは今見つからない段階になっています。きっと計画を立ててくださっている方々も同じ状況の中で、模索しながら見出していこうとされていると思うので、一緒になっていい方向へ行きましょうというような意見を出させてください、私の思いをお伝えしたいと思います。</p> <p>地域の活性化と幼稚園、小学校、中学校の子どもたちの発展に向けて何か良い方法を見いだせたらなという願いを持っています。</p>	<p>さんいるような場所での幼稚園というようなことを想定させていただいているところでは。</p> <p>ただそうすると、この母子から幼稚園がなくなってしまうということについて、すごく残念なお気持ちや、子育てをするときに何か支障はないだろうかというようなご心配もあるのではないかと思いますし、地域の活性化に本当にそれが繋がるのかということもご心配ということはよくわかります。</p> <p>この意見交換会に入る前には、私たちも庁内で、意見交換では地域の活性化というご意見も当然いただくと思うので、各関係部署の方々も一緒に地域の活性化に努めるように各所管の方にもお願いしたところですし、市長自身もこの件については、市全体で進めるようにという指示をしています。</p> <p>この幼稚園再編、つまり現在の園を集約して認定こども園をつくり、少しその場所は遠くなりますが、働きながら子育てができる環境を農村地域内につくりたいというのが一つで、同時に若い世代が残っていただく、あるいは若い世代を呼び込むような移住定住の政策についても強化をしていかなければならないと考えているところです。どんな地域にするのかということも地域の皆さんと一緒に私たちも考えさせていただきたいと思います。</p> <p>今の再編計画には、そういう皆さんのご心配、ご懸念のところが書かれていない部分もありますので、地域の活性化にも地域の方々と一緒に考えて取り組んでいきたいということについての担保といえますか、そんなことについても再編計画に書いていくことも必要ではないかと考えております。地域の活性化については、私たちも皆さんと一緒に取り組んでいきたいと思いますのでよろしくお願いたします。</p>
D	<p>計画案の週5日や長期休業中も見てもらえるというサービスがあるのは多少魅力ではあると思います。</p> <p>設置場所に関して、志手原と広野と計画されていますが、親が仕事とかをしやすいようにということですけど、新しい2園を選択はできないのですか。例えば、母子であれば志手原となっていますが、母子から広野に行くことは可能ですか。仕事先が三輪の方に行く場合には、志手原へ行くことは容易ですが、学園やテクノパークへ行く場合は、広野の方が便利ではないかと思えます。選択できるとまた一つ魅力があると思えます。</p>	<p>幼稚園に通われるお子さんは1号ということで、園区はありますが、基本的にはどこの園に通っていただいてもいいことになっています。今回再編をするにあたっては、幼稚園として通われる1号認定子どもといわれるお子さんは、元の園区内を基本として優先という話をしています。</p> <p>保護者の方がお仕事されていて保育が必要な2号認定子どもといいますが、これは幼稚園の園区が限定されるものではなく、全市的な利用調整となります。お子さんが広野の方を利用になりたいということでお申し込みされると、入所の調整の中で決定し、先ほどおっしゃったように保護者の方の送迎により通園していただくこととなります。</p>

	<p>その際に送迎の問題があり、それなら志手原へ行くしかないとなる場合と、自家用車で送り迎えするから選択肢を持たせてもらうなど、検討してもらえると嬉しいです。</p>	<p>基本的に幼稚園へ通われるお子さんについては、園区がありますが、幼稚園として通って、その後、預かり保育で預けたいというお子さんが再編で統合された園ではない園に行きたいということも十分考えられますので、そこは定員の範囲内ではありますが、十分に考えられるところだと思いますので、内容として検討させていただきたいと思います。</p>
E	<p>今日は母子幼稚園の説明に来られているにもかかわらず、資料が小野地区の人口推計になっている。小野地区といってもここは母子幼稚園ですので、母子の推計を資料として出していただきたい。</p> <p>再編計画のスケジュール関係の説明がされていません。今幼稚園に通っている子どもたちは、令和6年度には小学校に上がっているので、その辺もきちんと説明してあげないといけない。</p> <p>母子、永沢寺地区でアンケートを取りました。いただいたのは、50歳以上の方が約88%であり、それを大前提として考えていただくと少し違うかなと思います。自分たちも子どもたちの年代の方々の意見を吸い上げたいと思っています。今出ていっている人たちは帰ってくる気持ちがあるかないかのアンケートを取っていくべきと考えています。</p> <p>幼稚園再編は、地域全体の大きな問題だと思っています。他の幼稚園と違うのは、母子小学校は小規模特認校であり、三田市ではこしかない制度です。今年是小規模特認校制度で小学校に来られている子どものきょうだいも幼稚園に来られている。小学校の人数を増やすための一つの魅力として、幼稚園もここにあるから小学校と幼稚園は考えられるという保護者もおられる。</p> <p>こういうことも考えると、幼稚園がなくなると小学校に行かせたいけど、幼稚園は違うところに行かないといけないということも実際に出てくると思う。三田市として小規模特認校制度の小学校をどう生かすかという問題の中では、他の幼稚園とは違う考え方を持っていただきたい。教育委員会と子ども・未来部、一つの三田市として決めていただいて地域の人にも説明していただきたい。</p> <p>一番皆さんが気になっているのは、通園だと思います。これは今後検討していくという考えをされているようだが、そうではないと思います。この場合はこうしますとはっきり言えるような、その都度の対応で行くというような話をされると皆さんは納得されないと</p>	<p>人口の資料については、またお示しさせていただきたいと思っております。</p> <p>スケジュールのお話もいただきました。確かに再編計画案では6年度というところですが、現在この計画が案のままの状態ですので、スケジュールが後ずれする可能性もございます。</p> <p>定員のお話ですけれども、資料集12ページの就学前施設在籍状況に4地区の園区内の0歳から5歳の人口を掲載しています。3歳児が28人、2歳児が23人、1歳児が30人、0歳が15人で、この4つの園区内の子どもさんの今いらっしゃる全ての数ですので、認定こども園にすることで、この方々が全て来られても、受け入れられると想定しております。優先順位としては、閉園をした園区が優先になりますので、志手原、母子、小野、高平以外の園区の方の入園よりはこの地区の方々が優先ということになります。</p> <p>小規模特認校については、三田市では母子小学校のみで実施をしております。これまでも何人かここで学んでいただいている、現在も学んでいただいている状況です。この母子小学校を小規模特認校として選ばれるときには、実際にここへ来ていただいて、母子地域の状況、学校の校舎や教育活動を見てもらいながら、ここが良いということで選んで来ていただいています。</p> <p>母子の魅力、小学校の魅力というのにもたくさんあるかと思えます。自然環境であったり、校舎であったり、一輪車の活動であったり、そして地域の方に支えていただいているという状況など、さまざまある中に、同じ棟の中に幼稚園があつて、そこで学んでいる。小学校と連携をして教育活動ができるということも選んでいただいている方にとって非常に魅力ということだと思います。そういった状況があつて、いろんな魅力がある中で、どれに着目されるのかというのは、その方が選ばれるときのそれぞれの視点もあるのかと思いますが、魅力を感じていただいていることは事実かと思えます。</p> <p>小規模特認校は市内で唯一ですので、制度を継続しながら今後も取り組んでいくこととしている状況であります。今日いただいたお話は、一旦持ち帰らせていただいて、教育委員会と子ども・未来部と一緒にどうするのかといったところを、ご意見に対してどうお答えするのかということも含めて検討をさせて</p>

<p>思いますので、お願いしたいと思います。</p> <p>ここは幼稚園、小学校が一貫教育の中で進んでいるところで他のところとは違います。</p> <p>志手原の定員がオーバーしたときのこと考えておられますか。これだけの地域をまとめてしまうと、優先順位があるのかもしれませんが、認定こども園にすると3歳からは認定こども園に行かせたいとなると定員がオーバーする可能性がある。初めから考え方を示しておかないといけないのではないかと思います。</p>	<p>いただきたいと思います。小規模特認校である母子小学校と母子幼稚園との関係は、おっしゃっていただいたように幼稚園と小学校が一体となって、建物も一緒に中も行き来できるようになっています。</p> <p>幼稚園は、社会性を持つための第一歩というところがありますが、これまでは、小学校のお兄さん、お姉さんと交流しながら、社会性を育むという部分もやっていただいていたというふうに思っております。そういった形でやってきたものもだんだんと少なくなってきたら、それも難しくなりつつあるというのも事実かなと思います。</p> <p>将来にわたって社会性を子どもさんに育てていただくような機会をつくることを考えたときに、小学校のお兄さん、お姉さんがたくさんいらっしゃる時は、いろんな意味で補完できたのかなと思いますが、それもだんだん厳しい部分も出てきているのかなというところがございます。</p> <p>そういったこともありまして、小規模特認校という特徴はありますが、幼稚園の再編についてもご提案をさせていただいています。これまで異年齢という形で幼稚園教育をさせていただいて、それで頑張って効果を上げてきたというところもありますが、それもだんだん難しくなってきたというところが残念ながらあるのかなということでございますので、そのあたりもご意見を頂戴しながら私たちも考えさせていただきたいと思っております。</p>
<p>最後のところで、人数が減っているから幼稚園と小学校が手薄になっているというように取りましたが、今の母子幼稚園と小学校は、人数が少なくなっても、そこは先生方が工夫して頑張っています。認識不足ではないですか。今の小学校の子どもたちや幼稚園の子どもたちへの思いを少し変えていただかないといけない。少し違うなと思いました。地域を挙げてみんなでサポートしている。子どもが少なくなったから幼稚園と小学校が手薄になっているような思いを持っておられるなら、もう一度この地域に入り込んでいただきたい。地域の者としてお願いしておきたいと思えます。</p> <p>幼稚園の再編については、反対もしませんし、前に進めてくれたらいいですけど、進むにあたっては、地域の声を大切に聞いていただきたいと思えます。</p>	<p>私の言い方が言葉足らずでございました。今まで地域の方々に支えていただいた小学校と幼稚園という認識は変わりありませんし、現在もそのようにさせていただいていると思っております。</p> <p>ただ将来のことを考えると、なかなかそういった異年齢の交流も難しくなってくることもあるのではないかと思います。現在のことを否定して、それが足りなくなっているということではないということは、ご承知おきいただければと思います。引き続き地域の皆様のご意見についてもお伺いして参りたいと思えますのでよろしくお願ひいたします。</p>